

行政の窓



平成19年 特用林産統計について



【特用林産物生産額】

道内での平成19年の特用林産物総生産額は、約103億円（対前年比100.4%）となっています。

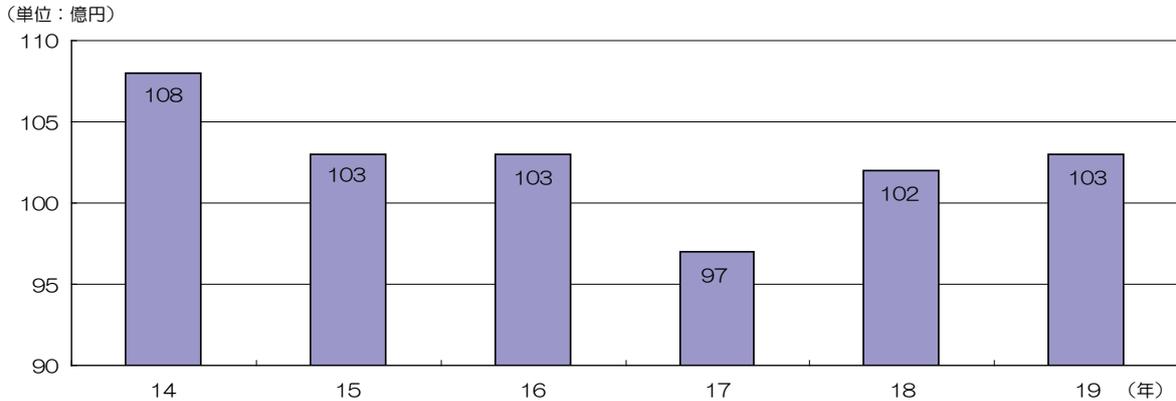


図1 特用林産物生産額の推移

【きのこ類の生産動向】

平成19年の生産額は約95億円（対前年比101.3%）、生産量は17,044t（同101.6%）となっています。

このうち、道内で最も生産者の多い「生しいたけ」は、原木、菌床あわせて生産額が約35億円（対前年比108.3%）、生産量が4,405t（同110.2%）となっており、栽培形態は、原木栽培から菌床栽培への移行が進んでいます。

その他の主なきのこ生産量では、まいたけが2,300t（対前年比104.3%）、ぶなしめじが3,500t（同110.0%）と増加し、なめこは前年並み、えのきたけやエリンギは減少しています。

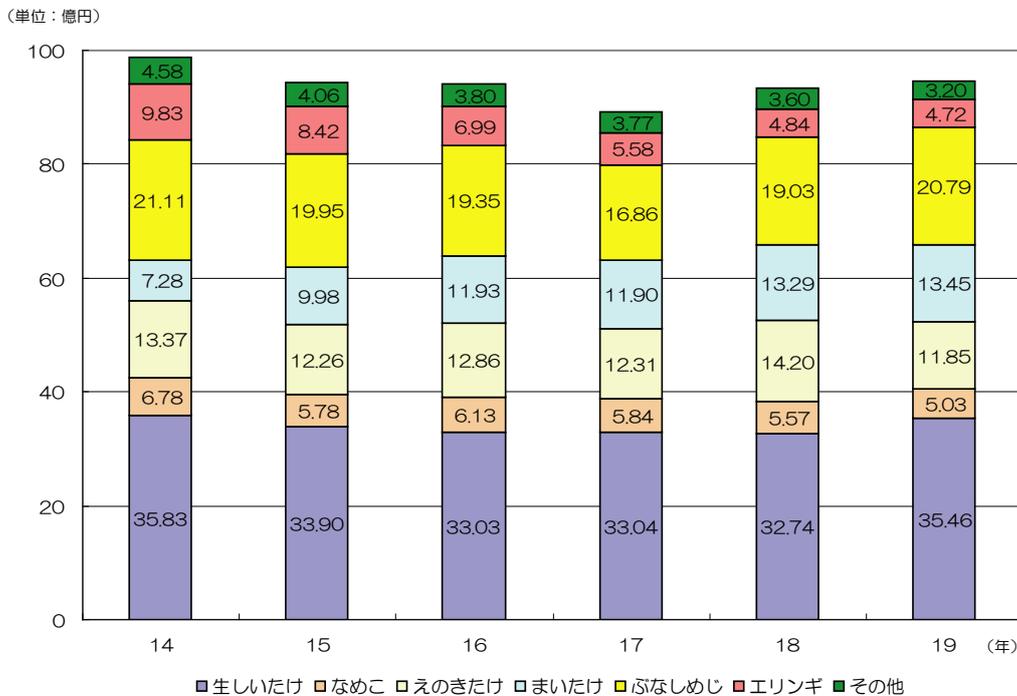


図2 きのこと類の生産額の推移

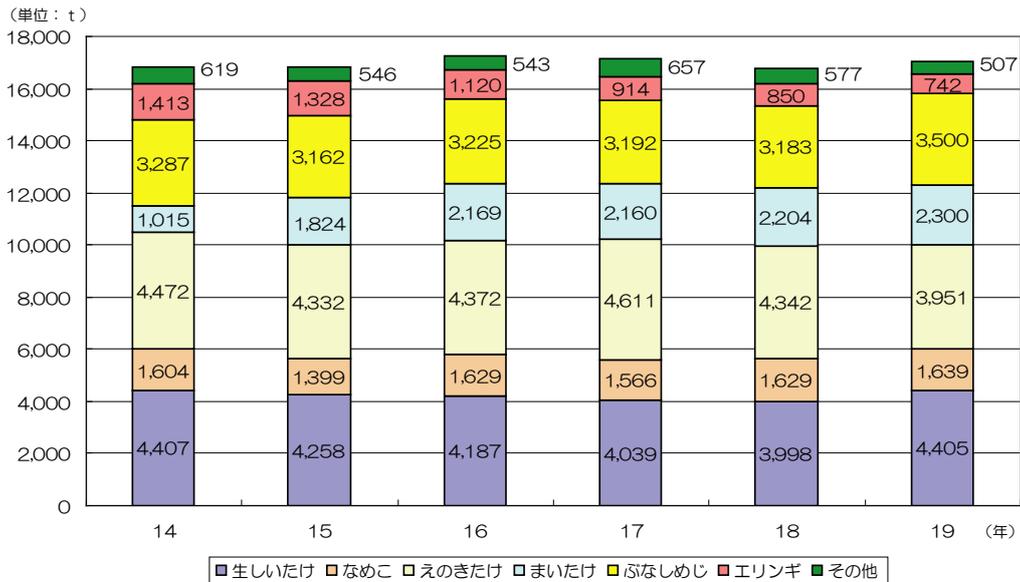


図3 きのこ類の生産量の推移

【木炭の生産動向】

平成19年の生産額は338百万円（対前年比95.9%）、生産量は2,600t（同88.5%）となっています。また、輸入量は年々増加してきましたが、平成19年の輸入量はわずかに減少し、6,155t（対前年比98.8%）となっています。

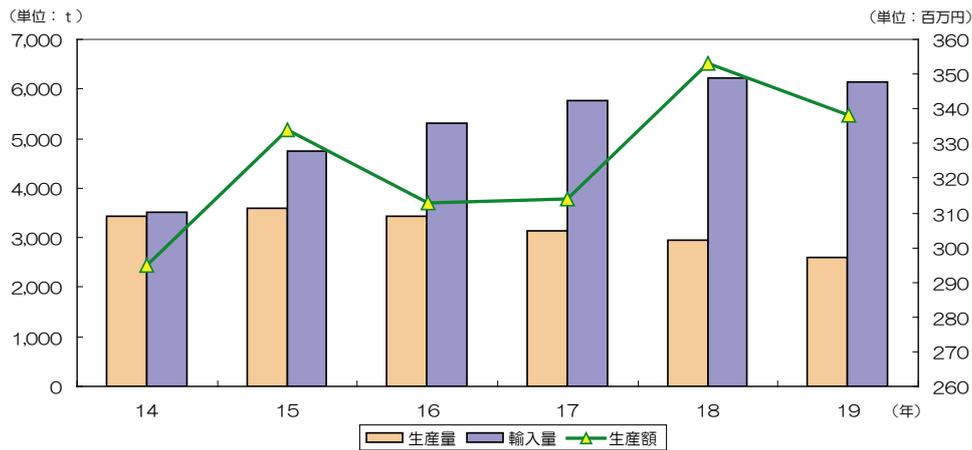


図4 木炭の生産量、輸入量及び生産額の推移

【山菜類の生産動向】

平成19年の生産額は495百万円（対前年比88.5%）、生産量は1,973t（同85.4%）となっています。道内における山菜類の生産は、天然物の採取が中心となっています。

表1 山菜類の生産量及び生産額の推移

区分		H14	H15	H16	H17	H18	H19
ふき	生産量	1,804	2,010	2,461	1,756	1,802	1,497
	生産額	431	400	485	346	308	278
うど	生産量	241	198	152	85	291	267
	生産額	94	78	56	40	132	111
たけのこ	生産量	18	21	28	37	113	107
	生産額	9	8	14	20	64	61
わらび	生産量	114	120	83	34	100	97
	生産額	61	65	35	19	53	42
その他	生産量	11	8	8	4	5	5
	生産額	3	3	3	2	2	3
合計	生産量	2,188	2,356	2,732	1,916	2,311	1,973
	生産額	598	555	594	427	559	495

(水産林務部林務局林業木材課林業担い手グループ)